

2020年10月25日

株式会社 GT アソシエーション

FIA-F4 事務局

## FIA-F4 選手権 第6戦 決勝上位コメント

### ■ 第6戦 決勝1位 平良 響[#35 TGR-DC RS トムススピリット F4]



「今回のレースも、良いスタートを切ることができました。正直言ってスタートには自信があり、2番手スタートだったのですが、トップで1コーナーにアプローチしていくことができました。ポールスタートの荒川選手（#14 ZAP SPEED スカラシップ/荒川麟）が後方についてきていましたが、自分の方がペースも速そうだったので、特に気にすることもなかったです。序盤は時々ミラーで間隔を確認していましたが、少しギャップが広がってからは、後ろを気にすることなく自分のペースで周回を重ねていきました。そうしたらいつの間にか（荒川選手が）居なくなっていました。目標としていた鈴鹿での3連勝、富士大会からの5連勝を飾ることができたので、次回も3連勝できるようにがんばります」

### ■ 第6戦 決勝2位 平木玲次[#62 HELM MOTORSPORTS F110]



「スタートでは少し出遅れてしまい、4番手にポジションを下げてしまいましたが、何とか抜き返してトップを追いかけていける体勢にまで持ち込むことはできました。でも、そこからはペース的に厳しかったですね。トップを追うには速さが足りず、とても悔しいレースになってしまいました。次回大会が開催されるツインリンクもてぎは自分自身にとっても、チームにとってもホームコース。去年も2位に入っていますが、チームと一緒にしっかり準備して、3レースすべて勝つつもりでレースに臨みたいと思います」

### ■ 第6戦 決勝3位 太田格之進[#7 VEGAPLUS DOME F110]



「昨日の第4戦で4位、第5戦での2位に続いて第6戦でも3位入賞でき、2戦連続で表彰台に上ることはできました。でも、今日は正直言ってレースペースではあまり自信がなかったので“スタートが勝負だ”と思っていました。実際に1コーナーへのアプローチではアウト側から2台をパスしてポジションをアップ。7番手スタートから3位表彰台を奪うことができたので、自分としては満足しています。今大会からの参加で、ライバルに比べて出遅れてしまいましたが、ここから追い上げていきたいと思っています」

### ■ 第6戦 インディペンデントカップ1位 佐藤セルゲイビッチ

【#3 結婚の学校 フィールドモータースポーツ】



「このレースではポールスタートで、まずまずのスタートが切れてトップのまま1コーナーにアプローチできました。ただヘアピンで、前のほうの若い子が詰まっていた、その隙を突かれる格好で仲尾選手（#96 CS Marketing AKILAND/齋藤真紀雄）に先行されてしまいました。そこで焦らずについていったのですが、ペース的には自分のほうが速いと思っていたので、どこで抜こうか考えながら走っていたら、仲尾選手がドライブスルーペナルティで後退してしまい、あとはクルージングでした。ポイント的に鈴鹿で逆転しようと思っていましたが、その通りになりました。次回のもてぎでどれだけポイントを稼げるかで、2年連続チャンピオンも見えてくると思うので、これからもがんばります」